第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会

会議名	第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会（三好丘地区）
日　時	平成29年7月2日（日）　午前10時～11時50分
場　所	三好丘交流センター
出席者	（市長）小野田賢治 （政策推進部長）増岡総一郎、（政策推進部参事）佐藤正美、（総務部長）原田清明、 （市民協働部長）柴田修、（福祉部長）小野田朗、（子育て健康部長）近藤正敏、 （環境経済部長）廣戸伸行、（都市建設部長）宇野勉、（教育部長）柴田圭一 （事務局）政策推進部　溝口次長 　　　　　企画政策課　竹内課長、近藤副主幹、三浦主任主査 （参加者数）56名
次　第	1　あいさつ（市長） 2　議題 （1）第2次みよし市総合計画の策定について （2）第2次みよし市総合計画の策定にむけての意見提案 3　あいさつ（お礼のあいさつ・市長）

会　議　録

1あいさつ（市長）

皆様おはようございます。市長の小野田賢治でございます。本日は公私共にご多用の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。日頃は本市の行政各般に格別なるご理解、ご協力を賜りまして、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、第2次みよし市総合計画は平成31年度よりスタートし、平成50年度までの20年間の基本構想と、基本計画10年間、3年ごとの実施計画を策定していく、大掛かりなものでございます。基本的な考え方につきましては、この後パワーポイントを使って説明いたしますが、今回の地区まちづくり懇談会において本市及び皆様の住んでみえる地区を将来どのようにしていきたいかを、直接皆様からご意見やご提言をお聞きして、新総合計画の基本構想、基本計画を作る参考にしたい、そして皆様と一緒になってまちづくりを進めたい、という強い思いがございます。

皆様の忌憚のないご意見・ご提言をいただきますようお願いしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

No.	行政区・性別	意　見　等
1	三好丘・女性	総合計画の意見交換をする前に、三好丘地区の最大の関心事である駅前の賑わいづくりについて意見を述べる。市の計画では、西側の4車線ある道路を3車線に減少して、マルシェを設ける案があるようである。車線の減少に関しては朝と夕方の混雑を見ていただくとよく分かると思うが、4車線から3車線に減ると、渋滞がますますひどくなるので大反対である。歩車分離の信号も誰も希望していないのにできてしまったが、多くの方から苦情が出ている。一度できたものは撤回できないとの回答が警察署からきた。車線の減少については見直しをお願いしたい。 駅前については、周りに緑がたくさんあるので、駅前にわざわざ緑を植えていただかなくてもよい。ゴミ捨て場になる可能性もある。敷地を最大限に利用した駅前のロータリーをお願いしたい。 カリヨンハウスを造る際に、駐車場の増設が棚上げになっていると思う。駐輪場についても先送りにせず、全部まとめて同時に建設をお願いしたい。以前、市にカリヨンハウスの駐車場の増設をお願いしたところ、それほど混雑していないとの回答だったが、駐車場がないから人が行かないのであって、駐車場を造ればもっと人が来ると思う。マルシェを造ったところで駐車場が増えないと誰も来ない。 この件に関しては、皆さんからも多くの意見が出ると思うが、せっかくの総合計画についての議論ができないと思うので、本件に関しては計画を見直すということと、住民の意見を聞いていただく場を設けていただくことを約束していただき、次の総合計画の話に進みたい。

No.	行政区・性別	意　見　等
2	三好丘・男性	2年半ほど前、市長にお会いするため市役所を訪問した際、議会に出席されているということで、議会を見学させていただいた。そこで、非常に良い意見が出ていた。ある議員が、「みよしの顔になる部分はどこか」と尋ねていた。これに対し、市の担当者は「三好ケ丘駅」と答えていたが、そのときの答弁はみよし商工会に丸投げをしたような意見を言っていた。みよしの顔となるまちづくりにおいて、三好ケ丘駅の再開発は最重要だと思う。 別の議員は防犯と環境整備について質問していた。環境整備については、「若いお母さん方が子育てできる地区をどうしたらよいか」と質問されていた。これに対し、市の担当者はあまり良い返事をしていなかった。その後、2年が経っているが、この2点を予算を組んで進めれば、とても良いまちづくりができると思う。現在、どのような状況になっているか質問したい。 議員は、豊田市や名古屋市の人から「みよし市ってどういうまちと聞かれたときに即答できない」ともおっしゃっていた。 30年来変わっていない名鉄豊田線はどうか。赤池駅から米野木駅、浄水駅はそこそこ発展しているが、黒笹駅、三好ケ丘駅前は全く変わっていない。愛知大学はみよし市に希望がなくなったから撤退したのではないか。
3	三好丘旭・男性	防災に関して4点述べたい。 ①緊急輸送道路網の見直しをお願いしたい。この地区の災害拠点病院である豊田厚生病院に対する緊急輸送道路がない。エネオスの西側から高速につながる道路も緊急輸送道路に指定されていない。 ②市の地域防災計画を見ると、この地区の広域避難所には、三好丘小学校と三好丘中学校があり、それぞれの屋外の収容人数が5,000人、7,000人である。防災倉庫の資機材については、想定人数に対してトイレの数があまりに少ないので見直しをお願いしたい。できれば下水道直結式のトイレをお願いしたい。 ③旭グラウンドは地域防災計画上、避難所等の位置付けがなく、もったいない。何らかの位置付けを検討していただきたい。 ④旭行政区で管理している旭の家は、土地がみよし市で、建物が旭行政区の管理である。建物が古く、地震が起きたら壊れる恐れがある。本来は行政区が、耐震改修や建て替えをすべきかもしれないが、区費で賄える金額ではないため、総合計画でも建築物の耐震化等書かれているので検討いただきたい。みよし市の地区拠点施設整備基本構想の中に、きたよし地区に交流センターのような施設を2つ造るとされており、一つは三好丘交流センターである。もう一つは旭の家にその位置付けをしてもらい、改修等をお願いしたい。 日常的にかかる修繕費は行政区で負担すべきとは思うが、建て替えや耐震というのは日常的な修繕費ではないと思う。人の命に関わる部分については、地区別の拠点整備計画の中で旭の家を位置付けることにより、所有者を市としていただければ、課題はクリアされるのではないかと個人的には思う。
4	三好丘旭・男性	一行政区一拠点という考え方を見直してもらえないか。旭行政区には集会所と、旭の家があり、大変有効に使わせていただいている。集会所は狭いため、旭の家を使っている。2か所必要である。本当は大きい建物が1か所あるとよい。旭の家を建て直そうとすると、億単位の費用がかかる。それぞれの地区の住みやすさを良くしていくのであれば、皆さんが楽しみにしている場所をさらに増強する考え方がほしい。 旭の家で子ども食堂をやろうという話が出ているが、耐震補強をしないとできない。検討いただきたい。
5	三好丘旭・男性	旭の家の使用賃借契約書は、平成17年に契約されている。その後、現在まで見直しされていない。現状に合った契約に見直してほしい。
6	三好丘・男性	資料P.13について、地区別構想があるが、地区ごとに構想を分ける意味が分からないので質問したい。みよし市の中での役割分担などについてもご説明いただきたい。 自宅の近くに下水処理場の跡地がある。30年前に入居した当時、境川の本管につないだ段階で撤去するということだった。半地下の簡易施設にすると聞いていた。その後、途中で変わってきているので、どのような現状になっているかお聞きしたい。民間事業者への委託で管理されていると思うが、防犯的なものがどうなっているのか。昨年度、小規模な火事があったと思うのでお聞きしたい。 下水処理場の件について、これから予算を措置されるということだが、それは行政の怠慢ではないかと思う。

No.	行政区・性別	意　見　等
7	三好丘・男性	①災害時の危機管理について、震度6、7クラスの大地震がきて、半壊50％以上となったときに、市として災害ボランティアセンターを設置できるのか。 ②災害ボランティアセンターの設置については県の災害ボランティアマニュアルを利用しながら開設するのか。 ③ボランティアセンターは赤十字のチューターや企業災害ボランティアの方々に委託するの発災後、6時間以内に災害ボランティアセンターを開設するとのことだが、私はボランティアコーディネーター養成講座を平成24年に修了し、100番目の修了者だった。急にボランティアセンターを開設するといっても、ボランティアコーディネーターが集まって、すぐに動けるだろうか。修了後、会議や勉強会もないのでその点についてはどうお考えか。 防災の重要性が認識される中でも、ボランティアセンターや防災リーダーの育成が遅れている。昨年の熊本地震でも、4月14日に発災してボランティアセンターが開設したのは5月9日と聞いている。準備等でとまどっている間に、全国からボランティアの方がやってくる。ボランティアセンターがないと帰らざるを得ない。私が広島の集中豪雨でかけつけた際には、県外の方は帰るように言われた。ボランティアセンターをいつ開設するかを明確にしてほしい。日進市においては、折戸川が警戒水位に達したのを機に危機感を持ち、ボランティアセンターの団体ができている。
8	三好丘・男性	救援隊のような組織に関して、従来は消防団があるはずだが、三好丘には消防団がない。消防団をもっと有効に使えないか。明確な体系と活動方針はないように思う。
9	名古屋グランパスホームタウングループ・男性	今日は、この地域で活動しているスポーツクラブとして出席させていただいた。我々は昨年度、みよし市と相互連携協定を結んだ。地域に根差したクラブを目指して、色々な活動を展開していく中で、三好ケ丘駅周辺の盛り上げや魅力づくりについてはクラブとしても計画している。クラブが練習しているトヨタスポーツセンターは、三好ケ丘駅を利用してお客様に来ていただく動線になっている。みよし市と一緒になって、グランパスを新たなみよし市の魅力の一つのコンテンツとして活用していただきたいと考えている。
10	三好丘・男性	名古屋グランパスに関連して、三好ケ丘駅に美味しい弁当屋があると、トヨタスポーツセンターの練習場に楽しんで行けると思う。 区長と相談して三好丘の意見をまとめたが、100項目ほどあるので後で市に提出したい。 他地区での地区まちづくり懇談会にも参加して、皆さんの意見を聞いてきたが、良いまちを作りたいという思いは共通である。10年、20年の計画なので、子どもや孫の世代にも魅力あるみよしであってほしい。代わり映えのあるものにしてほしいという意見もあり、これは大事だと思うのでお願いしたい。 三好丘の意見として、1点目は防犯カメラのネットワーク化をお願いしたい。日本の中で先駆けてやってほしい。
		2点目は、足の確保をお願いしたい。車を持っていない方には不便であり、これから高齢化が進み、免許を返納する中で、足の確保を心配しておられる方が多い。さんさんバスの利便性をもっと良いものにしてほしい。ハブを設けてネットワーク化し、時間短縮するなど、すぐにでも市でプロジェクトチームを作って早期に解決してほしい。昨日の懇談会で、緑行政区の方が本当は市の中心部に飲みに行き、みよし市にお金を落としたいが帰りの足がないので、仕方がなく電車に乗って豊田市に行くと言っていた。地域の中で経済を循環させるお金の地産地消はこれからのまちづくりの財政面で重要であると思う。 資料P.5の計画の進め方について、誰がやるのか。実行に移すのは大変である。事例に徳島県の神山プロジェクトがある。まちづくりの多くの工夫が見られるが、一例として、市と市民の間をつなぐ法人を作っている。市が行うと、公平性を保つ必要があり、色々な障害が出てくる。公平性の障害をクリアするような仕組みについても検討いただきたい。
11	三好丘・男性	10年前に区長を2年間務め、6年前に第1次総合計画の審議会委員を務めた。 今回の資料で、強みと弱み、脅威、チャンスを分析されているが、前回より具体的に内容が明示されていると思う。特に弱みがより深刻になってきている。今後、総合計画を進めるにあたり、強みやチャンスはもちろん生かしていただくが、弱みを一つ一つ解決していただき、強みや良さに変えることが大事である。そのためには、総合計画を策定する審議会メンバーの構成、人員、回数、任期についても具体的に検討してもらい、弱みを追及できる人選をしていただきたい。

No.	行政区・性別	意見等
12	三好丘・女性	ソフト面から質問させていただきたい。観光資源につながると思うが、福谷城と猿投古窯といった歴史的な史跡がある。開発というと、道路整備などハード面が多くなり、他のまちと代わり映えのしないまちづくりになってしまうと思う。みよし市の歴史はどこにも代えがたい価値があると思う。 福谷城について、市の南部の方の歴史の研究会があり、話を伺うと、どういう城なのかが分からないとか、南の方から行っても駐車場がない、看板を頼りに行ってもたどり着けないということだった。徳川家康の四天王の一人、酒井忠次が城主を務めていたときに、柴田勝家の軍が攻めてきて、見事撃退をしているなどの歴史がある。県内でも珍しい史跡的価値があると聞いた。だが、ここにいる方の多くが知らないと思う。市は観光資源をどのように考えているのか。みよし市の市民の誇りをどのように考えているのかをお聞きしたい。 資源のアピールも必要ではないかと思う。実際に見に行くと更地だが、案内看板で見るポイントなど、全国的に見に来る人を増やすアピールポイントは出てくると思う。市民皆が知っている
13	三好丘・男性	福谷城の話が出たが、福谷の旧の町並みは、非常に雰囲気がある。裏通りが良い雰囲気である。目玉を作るということであれば、福谷城を拠点として裏通りを生かしていただきたい。そして、全国からマニアが羨むような町並みに変えるということと合わせて検討いただきいたい。
14	三好丘旭・男性	①第5次三好町総合計画や第1次みよし市総合計画のときに強く感じていたのが、色んな方の意見を聞いて公平に行おうとすると総花的になる。これが今までの計画のあり方である。みよし市は住みよさランキングで財政はトップクラスに挙がるが、その他は順位が落ちる。お金の使い方という点でこれからは考えていかねばならない。 住みたくなるまち、よその人が来たくなるようなまちという視点で考えると、全ての人の意見を聞いて全ての項目で70点、80点を目指すのか。私はみよし市はだいたいの項目が70点台にあると思う。財政だけは90点を超えているかもしれないが、その他の項目ではない。 最近、長久手や浄水など、この近くで目覚ましく変化しているまちがあり、それがかえって不満になっている。満足度は高いはずなのに、心理的には不満がたまっているところがあると感じている。重点的な項目を絞り込んで特徴を出すまちづくりをやっていくのか、全体でまんべんなくやっていくのか。検討していただきたい。私個人としては全体で80点というのは難しいと思う。 国や県の予算を使ってまちづくりを行い、隣接する名古屋市から消費者を呼び寄せてくる環境にある長久手市と、みよし市を比べるのは無理だと思う。重点を絞っていくしかないと思う。 東郷町や日進市、各自治体が自前で完結して何かをやろうとする傾向を強く感じる。上水や消防はもともと連携してきたが、それ以外には教育などがそうだが連携する意欲が感じられない。これだけ近いまちなので、全部自前というのは無駄が大きい。何かにつけて連携していくという姿勢が今後のまちづくりに必要ではないか。周辺自治体との分担・連携を積極的に取り込んでいただきたい。 弱みに交通の利便性の低さ、買い物・外食の利便性の低さ、観光資源の少なさ、シンボル・特徴がないなどが挙がっているが、そうした点に的を絞るというのもあるかもしれない。 ②愛知池や福谷城、市役所などに行くときに、景観を楽しみながら歩いて行こうとしても、安全に歩ける道がない。名古屋市からみよし市へ歩いて行こうとすると、名古屋市内は歩道が整備され、安全に歩けるが、東郷町に入った途端、安全に歩ける道が少なくなる。三好丘の中は安全に歩けるが、三好丘から他地区や市外へ行くときに歩ける道がない。この点も重点項目を絞っていただく際の参考にしてほしい。 ③高齢者の呼び寄せがここ三好丘は多い気がする。今は若い世代が多いが、今後の行政課
15	三好丘旭・男性	①災害が起きたときのシミュレーションをしているか。我々もどう動いてよいか分からない。 ②南の方で柿やワインが生産されているが、あまり南の地区のことは分からない。産業フェスタである程度は知ることができるが、もっと交流する場を作ったらどうか。 ③高齢化が進む中で、シルバーセンターが活躍されているが、もっと増強してはどうか。
16	三好丘・女性	①宅地と農地の大胆な区分を推進して、まちのコンパクト化を進めていただきたい。福谷の区長とも話をしたが、トヨタスポーツセンターから高速道路までの大きいところを農業振興地域から市街化区域に用途変更をしていただき、魅力あるまちづくりをしてもらいたい。 ②幼稚園の無料化と小中学校の給食の無料化を、子育て世代を引き込むために、今すぐにではないが、どこかの時点で実現をしていただきたい。
17	三好丘・男性	第1次総合計画の総括あるいは中間報告はないのか。優先順位を決めて、できるものから予算を付けてやるという姿勢を見せてもらいたい。